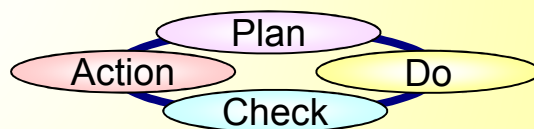


全国的な学力調査の実施

調査の目的

- 国としては、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の改善・充実に生かす
- 教育委員会としては、自治体や学校の学力水準を検証し、教育委員会の施策の改善・充実に生かす
- 学校としては、個々の児童生徒の学習状況を把握して指導に生かすとともに、学校全体として指導方法の検証・改善につなげる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する



29年度調査の実施

【本体調査：悉皆調査】

調査日：平成29年4月18日（火）

調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒

対象教科：国語、算数・数学（児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施）

【保護者に対する調査：抽出調査】

調査日：平成29年5月中旬～6月下旬の期間中

調査対象：調査対象として抽出した公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者及び該当学校

抽出予定規模：小学校1,200校、中学校800校

30年度調査の実施（予定）

平成30年度において、国語、算数・数学、理科を対象教科とした悉皆調査を実施するための準備を行う。

調査日：平成30年4月17日（火）

調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒（悉皆調査）

対象教科：国語、算数・数学、理科

中学校における英語調査の検討

中学校における「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の調査を平成31年度の実施に向けて検討

※英語調査実施に向けた予備調査を抽出方式で平成30年度に実施予定